

## 9月1日より公募がスタートしました!

### 令和3(2021)年度 主な研究種目

研究種目ごとに審査区分、審査方式、交付内定時期が異なります。詳細は文部科学省、日本学術振興会のWEBサイト、公募要項を確認してください。

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
学術変革領域研究(A・B)			11月頃から公募開始予定			※新型コロナウイルス感染症の状況により変更となる可能性があります。審査時期、交付内定時期は未定です。				
新学術領域研究・継続の研究領域(公募研究)		18研究領域			書面審査、合議審査			上旬 交付内定		
特別推進研究		人文社会系、理工系、生物系			総合審査(書面審査、合議審査) ※審査意見書の活用、ヒアリング審査の実施			下旬 交付内定		
基盤研究(S)		大区分			総合審査(書面審査、合議審査) ※審査意見書の活用、ヒアリング審査の実施					下旬 交付内定
基盤研究(A)(一般)		中区分	申請受付		総合審査(書面審査、合議審査)			上旬 交付内定		
基盤研究(B・C)(一般)		小区分			2段階書面審査			上旬 交付内定		
挑戦的研究(開拓・萌芽)		中区分、特設審査領域(2領域)			総合審査(書面審査、合議審査)	事前の選考を実施				下旬 交付内定
若手研究		小区分			2段階書面審査			上旬 交付内定		

#### 公募における主な変更点について

- 若手研究者が継続的・安定的に研究を遂行できるように、「若手研究」の研究期間が「2～4年間」から「2～5年間」に延伸されました。
- 「若手研究」において、39歳以下の博士号未取得者の応募を認める経過措置については、令和2(2020)年度公募をもって終了しました。
- 「若手研究」種目群から「基盤研究」種目群へのスムーズな移行を励行するため、一度「基盤研究」種目群を受給した者については、「若手研究」への応募を認めないこととなりました。
- 「基盤研究(B)」における若手研究者の応募課題を積極的に採択できる仕組みについては、「若手研究(A)」の公募停止に伴う経過措置として実施していましたが、令和2(2020)年度公募をもって終了しました。
- 競争的研究費制度の改善がありました。(2ページ「若手研究者の自発的な研究活動等の実施について」「パイアウト制度の導入について」をご確認ください)

### 学内申請手続きの流れ

公募要領及び研究計画調書を入手の上、科研費電子申請システムにログインし、研究計画調書を作成・提出してください。

#### 学内公募説明会・オンライン質問会

詳細は2ページ目をご確認ください。

#### 研究計画調書ブラッシュアップ制度

(主に「若手研究」・「基盤研究(C)」申請者対象)

主に「若手研究」・「基盤研究(C)」申請者を対象に、科研費申請アドバイザー委員によるブラッシュアップを実施します。利用方法は公募案内冊子をご確認ください。

#### 公募要領・研究計画調書等をダウンロード

新学術領域研究・継続の研究領域(公募研究) [https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shinkou/hojyo/boshu/1394561.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/hojyo/boshu/1394561.htm)

特別推進研究、基盤研究、挑戦的研究、若手研究 [https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/03\\_keikaku/data/r03/r3koubo.pdf](https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/03_keikaku/data/r03/r3koubo.pdf)

分担者なし

分担者あり

電子申請システム

分担者承諾手続き

Point!!

研究分担者を組織する場合は、電子申請システム上で分担者承諾手続きを完了する必要があります。この手続きが完了しないと研究計画調書の提出(送信)ができませんので、時間に余裕を持って参画予定の分担者に依頼を行うようにしてください。

科研費電子申請システムTOPページ <http://www.shinsei.jsps.go.jp/kaken/index.html>

学内締切

10月14日(水) 12:00

研究計画調書の提出(電子申請システム)

+ 添付ファイル項目(Word)をリサーチオフィスへメール送信  
\*衣笠キャンパス所属者はWord送付不要

## 公募説明会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本年度の公募説明会は研究部HPにて動画（日本語）を公開いたします。公募要領に基づき、公募種目、審査システム、申請スケジュール等についてご説明いたします。

なお、APU主催の英語説明会は9月10日（木）15：00～16：00でオンライン開催されます。参加方法については研究部HPをご確認ください。

## オンライン質問会

公募に関するオンライン質問会を以下の日程で開催します。事前申込制ですが、当日でもご参加頂けます。参加方法については研究部HPをご確認ください。

第1回 9月16日（水）15：00～15：30 第2回 9月18日（金）13：00～13：30

リサーチオフィスでも個別相談を受け付けておりますので、所属キャンパスのリサーチオフィスまでお気軽にお問合せください。

## 学内提出書類の提出方法を変更しました

本年度より、科研費申請のために必要となる学内書類の提出をSmartDBから受け付けることにいたしました。

以下の対象者に該当される方は、提出先URL、提出方法（ユーザーマニュアル）等を研究部HPからご確認ください。

提出書類 博士学位取得日届出書

対象者 応募要件において、博士学位取得日をe-Radに登録する必要のある方

提出書類 応募承認申請書

対象者 競争的資金および外部資金で雇用されている専門研究員および研究員、補助研究員、職員

提出書類 応募資格確認書

対象者 非常勤講師、授業担当講師

提出書類 理解度チェック用紙・誓約書

「研究機関における公的研究費の管理・監査ガイドライン」改正に基づくコンプライアンス研修の受講が必要

対象者 ①新規受講：新規任用の研究者は、公的研究費を受給・新規申請する前に受講してください。

②更新受講：在籍する研究者のうち、公的研究費を受給・新規申請する方は、大学が定める年度（5か年ごと）に受講してください。\*

\* 令和3（2021）年度科研費の申請についてすでに誓約書を提出されている方は、公募締切日までに更新受講を行わなくても申請には支障ありませんが、2021年3月末までに更新受講するようにしてください。

提出書類 研究倫理教育に関する報告書（研究倫理教育教材通読用）または研究倫理eラーニングコース[eL CoRE] 修了証書

「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」に基づく研究倫理教育の受講が必要

対象者 本大学で過去に受講・書類を提出したことがない教員・研究者

## 若手研究者の自発的な研究活動等の実施について

文部科学省の制度改善に伴い、科研費を含む競争的研究費においてプロジェクト実施のために雇用される若手研究者について、当該プロジェクトに従事するエフォートの一部を、科研費申請を含む自発的な研究活動等に充当することが可能になりました。

競争的研究費で雇用される専門研究員・研究員においては、SmartDBを通じて受入教員から「若手研究者の自発的な研究活動等に関する申請書」を提出し、承認される必要があります。また科研費への申請については、若手研究者からの「応募承認申請書」の提出が必要となります。詳細については、下記研究部HPをご確認ください。

## バイアウト制度の導入について

文部科学省の制度改善に伴い、競争的研究費の直接経費から研究以外の業務代行に係る経費が支出可能となりました（バイアウト制度）。大学として制度を整えることが求められており、順次検討を進めていきます。制度の詳細については、研究部HPならびに公募要項をご確認ください。なお、バイアウト経費を支出する場合は、研究計画調書に計上し、「バイアウト」の文言を記載する必要があります。

科研費申請担当  
問い合わせ先

衣笠、朱雀キャンパス所属

衣笠リサーチオフィス

Tel：075-465-8224（内線：511-2383）  
mail：shinseik@st.ritsumeik.ac.jp

びわこ・くさつキャンパス所属

BKCリサーチオフィス

Tel：077-561-2802（内線：515-7508）  
mail：b-kaken@st.ritsumeik.ac.jp

大阪いばらきキャンパス所属

OICリサーチオフィス

Tel：072-665-2570（内線：513-3515）  
mail：o-kaken1@st.ritsumeik.ac.jp